

アーティスト・イン・レジデンス展
「台湾の作家たちー陶芸の森×台湾文化センターー」

■趣 旨

台湾文化センターからの受け入れ作家が創作研修館で制作した作品を展示しました。出展アーティストの制作風景を撮影し、会場とYouTubeに掲載しました。謝長廷駐日代表、劉家愷諮議、王淑芳台湾文化センター長、台湾文化センター職員 趙心如氏、駐大阪弁事処 職員がご来館しました。コロナ対策として陶芸館入館時の検温、アルコール消毒、及びマスク着用の上での鑑賞を来館者に依頼しました。

■会 期 令和4年3月5日(土)～3月31日(木)(27日間)

※ 休館日 月曜日

■主 催 滋賀県立陶芸の森、台北駐日経済文化代表処台湾文化センター

■出品作家

呉 育霈/WU, Yu pei (2018年度)、李 承亮/LI, Cheng liang (2019年度)、梁 瀚云/LIANG, Han yun (2021年度)

■作品点数 11点

■観 覧 料 無料

■入場者数 3,063人(一日平均 113人)

■掲載記事

3/10 時事ドットコム

PR タイムス

Anime!Anime!

楽天 Infoseek News

ORICON News

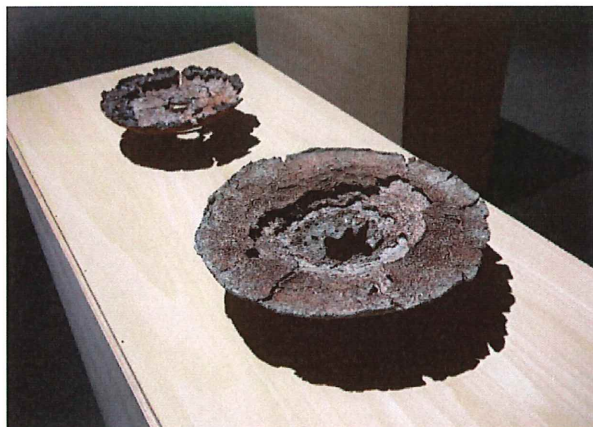
Biglobe ニュース

3/20 中央社フォーカス台湾

ヤフーニュース

4/1 読売新聞オンライン

Excite ニュース



子どもたちの土の造形—本物との出会いから

■趣 旨

平成 21 年度から継続して来園し制作をしている甲賀市立雲井小学校は、本年度も小学 4 年生以外の全学年がやきものづくりに挑戦しました。6 年生は 2.5kg の粘土を使って手びねりで大きなランタントロフィーをつくりました。粘土体験を通して児童の成長がうかがえる展示となりました。



■会 期 令和3年7月17日(土)～8月29日(日) (38日間)

■展示構成

1、2 年生 土面	25 点
3 年生 たぬき (粘土 1.5kg)	24 点
5 年生 シーサー (粘土 2.5 kg)	15 点
6 年生 ランタントロフィー (粘土 2.5 kg)	17 点

■出 品 数 81 点

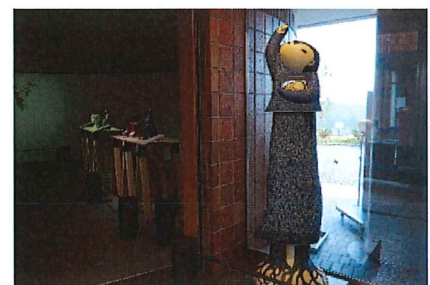
■入館者数 5,808 人 (一日平均 152.8 人)

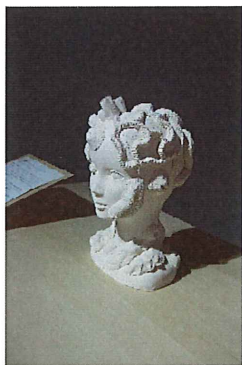
「陶芸の森で生まれた Human and Animal」

■趣 旨

滋賀県立陶芸の森は美術館と滞在型スタジオを兼ね備えた、全国でも数少ないやきものを専門とする文化施設です。アーティスト・イン・レジデンス展は、陶芸の森で制作を行うアーティストの活動成果の発表を目的とする展覧会です。

多国籍の作家が滞在制作をする陶芸の森アーティスト・イン・レジデンスでは 1992 年の開設以降、累計 1400 余名のアーティストを受け入れ、作家同士の国際的な交流の場を提供してきました。本展では陶芸館にて開催中の「Human and Animal」展に合わせ、過去に陶芸の森に滞在した作家の寄贈作品の中から人物・動物を題材にした作品を紹介しました。





■会 期 令和3年9月18日(土)～12月19日(日) (78日間)

■出品作家

米谷健+JULIA (日本)

エステファニア・ヴァルス・ウルキホ (グアテマラ)

エリオット・カイザー (アメリカ)

キャシー・キング (アメリカ)

唐瑄 (台湾)

マティアス・リーマタイネン (フィンランド)

ヴァレンティナ・ベロ (ウクライナ)

■入館者 21,767 人 (一日平均 279 人)

日本六古窯サミット連携パネル展

※ 六古窯サミットが令和4年度に延期になったため中止

陶芸の森「陶芸館 3D デジタルアーカイブ」

■趣 旨

新型コロナウイルス感染症の拡大が続くなか、美術館・博物館では展覧会や収蔵作品への関心を喚起するため、デジタルコンテンツを制作して活用するなど、ポストコロナ時代のあり方を検討しています。

県立陶芸の森陶芸館では、令和2年度から所蔵品と展覧会のおすすめ作品を紹介するデジタルコンテンツの制作に取り込んできました。このたび、専用デジタルアーカイブサイトを展覧会の開幕にあわせて3月5日より公開しました。

陶芸館所蔵の名品(おすすめ)作品を細部まで自由自在に、しかも高精細な3D映像で気軽にスマートフォンやパソコンを通してご覧いただけます。常設展がない当館では、今後このサイトを充実・活用し、将来的にウェブ常設展のような形で当館コレクションの魅力をより多くの方に発信する予定です。

※本事業は、県立窯業技術試験場と陶芸の森が取り込んだ連携事業の一つです。

※助成：文化庁の令和2年度文化芸術振興費補助金(文化施設の感染症拡大予防・活動支援環境設備事業



「陶芸館 3D デジタルアーカイブ」トップページ

■内 容

1. 陶芸館コレクションの名品を紹介（高精細 360° VR・3D 映像）
2. 展覧会のおすすめ作品を紹介（高精細 360° VR・3D 映像）

■会 期 令和 4 年 3 月 5 日（土）～3 月 31 日（木）

■公開場所 URL VR (1, 2) : <https://digital-museum.sccp.jp>

■撮影・編集協力 滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場



■VR 体験コーナー 陶芸館展示室入口前で、VR 体験コーナーを設置

■掲載記事

（1）新聞・雑誌関係

- ・4 月 19 日（火）京都新聞「美術品 3D 映像公開—陶芸の森陶芸館 収蔵・展示品：コロナ収束後の来場促す」
- ・「3D スキャナーによる VR・AR データの作成」滋賀県工業技術総合センターの広報誌『テクノネットワーク』No. 134 号, 2022

（2）インターネット

朝日新聞デジタルマガジン&、財經新聞 Web、SankeiBiz、ニコニコニュース、Mapion ニュース、LINE ニュース、Infoseek ニュース、bizocan※、BIGLOBE ニュース、Barclay Global BIZ、ノアドット、NewsPicks、PANORA、東京ビューティー、ロイター.co.jp、リセマム、クイックオーダー※、とれまがニュース、zakzak、woman.excite、StartHome、SEOTOOLS、SANSP0.COM、rentaloffice.bz、PC Watch、Newsweek、ビズハック！、NewsCafe、PORTALFIELD News、お受験ねっと、ORICON NEWS、グノシー、リセマム、NEWSCAST、Infoseek ニュース、陶芸の森 HP&SNS など

(3) その他、「産業技術支援フェア in KANSAI 2022」でパネル展示

関連資料 (VR の楽しみ方)



信楽まちなか芸術祭「産地のアーカイブ展 1960-80s」—信楽窯業技術試験場の足跡から

- 開催期間 令和3年10月24日(日)～11月14日(日)うち土日祝日開催
- 主 催 信楽まちなか芸術祭実行委員会
- 企画監修 陶芸の森学芸課

博物館実習

陶芸館では、博物館学芸員資格取得のための実習生の受け入れを、平成7年度より行っています。令和3年度は、滋賀県立大学と佛教大学より2人を受け入れました。

当館での博物館実習では、各施設や特別展の見学を行い、展覧会企画と教育普及事業について

の講義を行いました。また、実習では、やきもの作品の梱包方法や作品の取り扱い方を学び、調査台帳作成の仕方を実習や当館 Facebook を利用した SNS 広報実習を行いました。そして、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う意臨時休館を機に、新たに導入した陶芸の森のデジタルコンテンツ事業について紹介・体験した後、デジタルコンテンツを教育材料としてどのように活用できるのかについて各自企画案を作成及び発表しました。

■内 容

8月24日（火）

オリエンテーション／陶芸の森施設見学／特別企画展の鑑賞

講義 1. 教育普及事業について／講義 2. 展覧会事業について

8月25日（水）

講義 3. デジタルコンテンツの活用について／実習 1. 関連イベントの企画案作成と発表

8月26日（木）

実習 2. 作品の取り扱いおよび梱包について／実習 2-1. 調書作成

8月27日（金）

講義 4. SNS を利用した広報宣伝／実習 3. 当館 SNS で広報／総括

■期 間 令和3年8月24日（火）～27日（金） 4日間

■会 場 滋賀県立陶芸の森内 視聴覚室および陶芸館

■受入大学 滋賀県立大学 1名、佛教大学 1名

陶磁ネットワーク会議の開催

陶磁ネットワーク会議は、陶芸若しくは陶磁を専門とする県立の博物館と美術館8館で組織されています。陶芸文化の発展と館活動の活性化、また加盟館相互の交流や情報交換を進めることや、共同企画展の開催をはじめ共同の研究や広報、そして各館所蔵品の相互利用、緊急時の協力体制の強化などを目的に、平成20年に設立されました。

今年度は福井県陶芸館が幹事館として、「第14回陶磁ネットワーク会議」が開催されました。

■日 程 令和3年10月26日（火）～10月27日（水）

■会 場 福井窯業指導所2階会議室（越前陶芸村内）

■参加館 愛知県陶磁美術館（瀬戸）、茨城県陶芸美術館（笠間）、岐阜県現代陶芸美術館（美濃）、佐賀県立九州陶磁文化館（有田）、滋賀県立陶芸の森（信楽）、兵庫陶芸美術館（丹波）、福井県陶芸館（越前）、山口県立萩美術館・浦上記念館（萩）

■出席者 8館18人

■議 題 1. 「陶磁美術館・博物館の運営体制とその変遷」について
2. その他意見交換 自由討議

■見 学 1. 開館50周年記念特別展「後期「ECHIZEN BRAND 新しいやきものへの挑戦」」
2. 越前町織田文化歴史館・劔神社
3. 織田文化歴史館

調査研究活動

三浦 弘子

1. 出向・委嘱等

（委嘱）兵庫陶芸美術館 収蔵作品価格評価委員

（委嘱）滋賀次世代文化芸術センター役員

（委嘱）甲賀市指定無形文化財信楽焼保持者認定検討委員会委員

（委嘱）信楽伝統産業会館運営委員会特別企画委員会

（委嘱）世界にひとつの宝物づくり実行委員会

（出講）滋賀県立膳所高等学校 1 年生つちっこプログラム導入授業「美と食の巨匠 北大路魯山人」

令和 3 年 5 月 13 日（木）、5 月 14 日（金）

鉤 真一

1. 企画協力

・滋賀県立陶芸の森・信楽窯業試験場移転記念展プレ企画

「まちなか芸術際 信楽アーカイブ展ー信楽窯業技術試験場の足跡から 1960ー1980s」

令和 3 年 10 月 24 日（日）ー11 月 14 日（日）

2. 発表講義

・「日本遺産・信楽焼について」滋賀県立水口高校 令和 3 年 10 月 6 日（水）

裴 洙淨（ベ スジョン）

1. 出講・委嘱等

京都造形芸術大学 2022 年度学位予備審査員 令和 3 年 8 月 31 日（火）

2. 著作・文章執筆等

裴洙淨「成瀬誠志の「陶製・陽明門」と信楽」『陶説』令和 3 年 8 月 第 819 号

創 作 事 業

アーティスト・イン・レジデンス事業

やきものの産地である信楽でレジデンス事業を行っているメリットを最大限に、そして双方向に活かし、やきもの産地特有の伝統的な要素と現代のトレンドとの交流を活発化させるよう努めています。本年度は新型コロナウイルス感染症の流行により国内在住の作家のみ受入れ・招聘を行いました。

■スタジオ・アーティストの受け入れ

アーティスト・イン・レジデンス事業の中核である「スタジオ・アーティストの受け入れ」では3ヵ国、延べ34人を受け入れました。

受入実績 総数 34人（3ヵ国）
 国内 31人（延べ47人）
 うち滋賀県：3人
 海外 3人
 （内訳）日本在住－32人（延べ45人）、台湾－1人、フランス－1人

受入名簿

氏 名 十川 加代子 SOGAWA, Kayoko （日本）
＜滞在期間＞令和3年4月30日～6月30日（62日間）

氏 名 須齋 尚子 SUSAI, Naoko （日本）
＜滞在期間＞令和3年5月15日～8月20日（98日間）

氏 名 工藤 玲那 KUDOU, Rena （日本）
＜滞在期間＞令和3年4月1日～5月20日（50日間）
 令和4年1月9日～3月31日（82日間）

氏 名 ナカミツキ NAKA, Mitsuki （日本）
＜滞在期間＞令和3年4月14日～7月31日（109日間）

氏 名 ハン・ユン・リャン Han Yun Liang （台湾）
＜滞在期間＞令和3年4月1日～7月3日（94日間）
 令和4年1月25日～3月31日（66日間）

氏 名 松田 啓佑 MATUDA, Keisuke （日本）
＜滞在期間＞令和3年5月7日～7月31日（86日間）

氏 名 マチュー・マンシュ Matthieu Manche (日本・フランス)

<滞在期間>令和3年4月1日～7月7日(98日間)

令和4年2月3日～令和4年3月31日(57日間)

氏 名 安永 正臣 YASUNAGA, Masaomi (日本)

<滞在期間>令和3年4月1日～12月28日(272日間)

氏 名 山田 浩之 YAMADA, Hiroyuki (日本)

<滞在期間>令和3年4月15日～11月30日(230日間)

令和4年1月4日～1月25日(22日間)

氏 名 大野 由美子 ONO, Yumiko (日本)

<滞在期間>令和3年4月13日～10月25日(196日間)

氏 名 矢部 俊一 YABE, Shunichi (日本)

<滞在期間>令和3年4月1日～5月15日(45日間)

令和4年1月18日～3月31日(73日間)

氏 名 橋本 知成 HASHIMOTO, Tomonari (日本)

<滞在期間>令和3年4月1日～4月30日(30日間)

氏 名 尾花 友久 OBANA, Tomohisa (日本)

<滞在期間>令和3年4月1日～9月30日(183日間)

氏 名 斉藤 七海 SAITO, Nanami (日本)

<滞在期間>令和3年4月15日～6月18日(65日間)

令和3年12月18日～12月20日(3日間)

令和4年2月14日～2月22日(9日間)

氏 名 オスカー・ロヴェラス Oscar Lloveras (フランス)

<滞在期間>令和3年4月6日～6月20日(76日間)

氏 名 金 理有 KIM, Riyoo (日本)

<滞在期間>令和3年4月1日～5月3日(33日間)

氏 名 伊藤 学美 ITO, Manami (日本)

<滞在期間>令和3年8月3日～9月19日(48日間)

氏 名 平田 万葉 HIRATA, Maha (日本)
＜滞在期間＞令和3年7月28日～10月25日(90日間)
令和3年12月22日～12月23日、1月17日(3日間)

氏 名 坂本 紬野子 SAKAMOTO, Chinoko (日本)
＜滞在期間＞令和3年8月3日～10月10日(69日間)
令和3年11月16日～令和4年2月18日(95日間)

氏 名 榎本 佳子 MASUMOTO, Keiko (日本)
＜滞在期間＞令和3年4月1日～4月13日(13日間)

氏 名 塩谷 良太 SHIOYA, Ryota (日本)
＜滞在期間＞令和3年7月20日～7月30日(11日間)

氏 名 田島 弘庸 TAJIMA, Hirotsune (アメリカ)
＜滞在期間＞令和3年6月30日～7月30日(11日間)

氏 名 澤 克典 SAWA, Katsunori (日本)
＜滞在期間＞令和4年2月15日～2月25日(11日間)

氏 名 小出 ナオキ KOIDE, Naoki (日本)
＜滞在期間＞令和3年6月21日～7月14日(24日間)
令和3年8月16日～8月31日(16日間)

氏 名 浅田 泰子 ASADA, Yasuko (日本)
＜滞在期間＞令和3年11月16日～令和4年1月30日(76日間)

氏 名 宮岡 貴泉 MIYAOKA, Takami (日本)
＜滞在期間＞令和3年9月1日～令和4年2月18日(171日間)

氏 名 岩村 遠 IWAMURA, En (日本)
＜滞在期間＞令和3年10月1日～令和4年3月31日(182日間)

氏 名 鈴木 希果 SUZUKI, Kika (日本)
＜滞在期間＞令和3年8月10日～令和3年8月17日(17日間)

氏 名 秋元 尚美 AKIMOTO, Naomi (日本)
＜滞在期間＞令和3年11月5日～令和4年1月15日(72日間)

氏 名 石山 哲也 ISHIYAMA, Tetsuya (日本)

<滞在期間>令和3年8月1日～令和3年10月31日(92日間)

氏 名 岩城 春男 IWAKI, Haruo (日本)

<滞在期間>令和3年11月6日～令和3年12月8日(33日間)

氏 名 植松 永次 UEMATSU, Eiji (日本)

<滞在期間>令和4年1月5日～3月21日(76日間)

氏 名 李 寶那 Lee, Bona (日本)

<滞在期間>令和4年3月12日～3月28日(17日間)

氏 名 奈良 美智 NARA, Yoshitomo (日本)

<滞在期間>令和3年12月14日～令和4年1月24日(42日間)

■ゲスト・アーティストの招へい

受入実績 5人、(国内5人)

受入名簿

氏名 日野田 崇 (京都府)

＜滞在期間＞令和3年4月6日～令和4年3月31日 (365日間)

《令和4年度に継続》

＜活動概略＞人体をモチーフにした大型作品の成形をおこなった。



氏名 湊 茉莉 (日本／フランス在住)

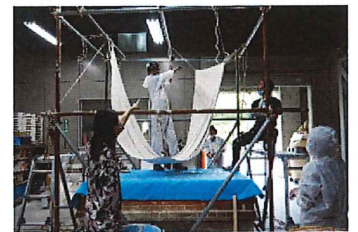
＜滞在期間＞令和3年4月6日～7月11日 (97日間)

令和4年2月23日～3月31日 (37日間)

《令和4年度に継続》

＜活動概略＞自身の絵画作品を立体として表現することに取り組んだ。

また、泥漿を布に浸して成形する大型作品に挑戦した。

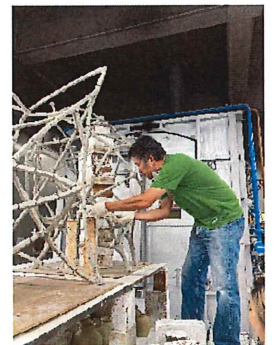


氏名 川尻 潤 (京都府)

＜滞在期間＞令和3年6月10日～9月30日 (113日間)

令和4年2月14日～3月31日 (46日間)

＜活動概略＞電気窯の部品であるヒーター線を骨格に粘土を巻き付け、構造的な作品を制作した。



氏名 永井 麻紀子 (岐阜県)

＜滞在期間＞令和3年9月1日～12月27日 (118日間)

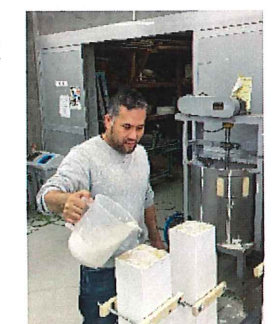
＜活動概略＞紐づくりの合わせ目をのこした、造形的な大型作品を制作した。



氏名 竹内 紘三 (兵庫県)

＜滞在期間＞令和4年2月13日～3月31日 (47日間)

＜活動概略＞角パイプ状のパーツを磁器土の鋳込み成型で複数制作し、組み立てて作品とした。



■アーティスト・トーク、陶芸館ギャラリー展覧会の開催

・アーティスト・トーク

開催日：令和3年7月1日（木）

会 場：視聴覚室、創作研修館スタジオ

講 師：湊 茉莉（フランス在住／令和3年度ゲスト・アーティスト）

内 容：アーティスト・トークと制作中の作品についての解説をおこないました。

開催日：令和3年9月28日（火）

会 場：視聴覚室、創作研修館スタジオ

講 師：川尻潤（京都府在住／令和3年度ゲスト・アーティスト）

内 容：アーティスト・トークと制作中の作品についての解説をおこないました。

開催日：令和3年12月9日（木）

会 場：視聴覚室、創作研修館スタジオ

講 師：永井麻紀子（岐阜県在住／令和3年度ゲスト・アーティスト）

内 容：アーティスト・トークと制作中の作品についての解説をおこないました。

開催日：令和4年2月22日（火）

会 場：視聴覚室、創作研修館スタジオ

講 師：鍾 雯婷 Chung, Wen-Ting（台湾出身日本在住／令和3年度

文化庁補助事業交換プログラム受け入れアーティスト）

内 容：アーティスト・トーク制作中の作品についての解説をおこないました。



・アーティスト・イン・レジデンス展

「森で生まれた Human and Animal」

【内 容】アーティスト・イン・レジデンス参加作家が創作研修館で制作した作品を展示しました。

【会 期】令和3年9月18日（土）～10月17日（日） 30日間

【会 場】滋賀県立陶芸の森 陶芸館ギャラリー

【出品作家】

米谷健+JULIA（日本）

エステファニア・ヴァルス・ウルキホ（グアテマラ）

エリオット・カイザー（アメリカ）

キャシー・キング（アメリカ）

唐瑄（台湾）

マティアス・リーマタイネン（フィンランド）

ヴァレンティナ・ベロ（ウクライナ）

・アーティスト・イン・レジデンス展

「台湾の作家たちー陶芸の森×台湾文化センターー」

【内 容】台湾文化センターからの受け入れ作家が創作研修館で制作した作品を展示しました。謝長廷 駐日代表 王淑芳 台湾文化センター長 趙心如 台湾文化センター職員が来館。

駐大阪弁事処 職員

【主 催】滋賀県立陶芸の森、台北駐日経済文化代表処台湾文化センター

【会 期】令和4年3月5日（土）～3月31日（木） 27日間

【関連行事】「アーティストの制作風景」のビデオ展示

【会 場】滋賀県立陶芸の森 陶芸館ギャラリー

【出品作家】

呉 育霈/WU, Yu pei（2018年度受け入れ）

李 承亮/LI, Cheng liang（2019年度受け入れ）

梁 瀚云/LIANG, Han yun（2021年度受け入れ）

■国内外のレジデンス機関との連携

海外の機関との連携 文化庁補助事業「滋賀県立陶芸の森アーティスト・イン・レジデンス国際文化交流促進事業2021」海外のアーティスト・イン・レジデンス機関との交換プログラムによる、陶芸家の受入および派遣を2機関とおこないました。

I. 国外機関との連携

・ 台南芸術大学

受入者：鍾 雯婷（ツォン ウェンティン）

期 間：令和4年1月15日～令和4年3月5日

・ 中国美術学院

受入者：鄭 天雨（テイ テンウ）

期 間：令和3年8月12日～9月5日、令和4年3月8日～3月31日

※ 海外芸術関係団体として連携先である香港バプティスト大学および台湾文化センターからの受入は、新型コロナウイルス感染症流行のため令和4年度に延期。

II. 国内の機関との連携

文化庁補助事業としてアーティスト・イン・レジデンス研究会を開催。

開催日：令和4年3月9日、10日

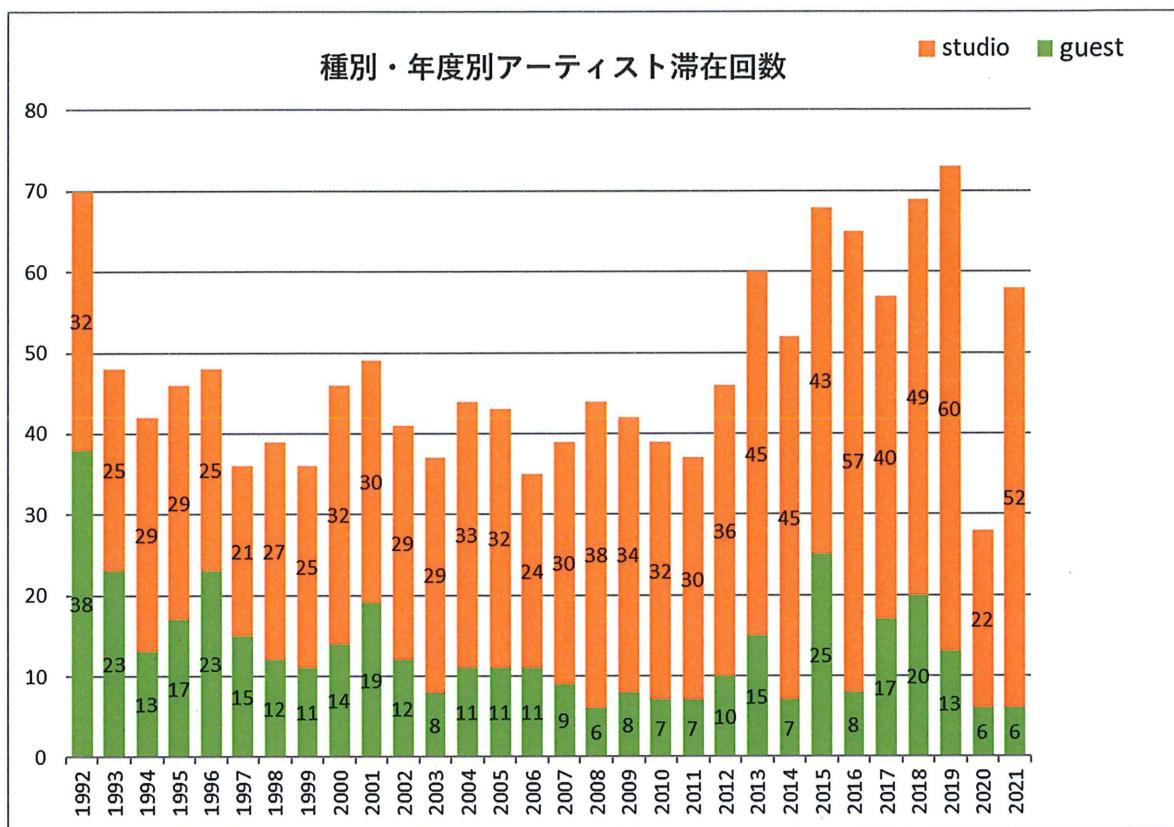
会 場：滋賀県立陶芸の森 管理棟 視聴覚室

参加者：3機関、延べ19人

Ⅲ. 国別・年度別アーティスト滞在回数

滞在回数	年度																					総計											
	国名(日本語)	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
アイスランド													1		1	1	1			1												5	
アイルランド											1									1												2	
アメリカ合衆国	8	11	7	7	6	1	5	4	2	6	2	7	1	7	4		2		1	3	6	4	5	4	4	4	6	4	11		1	129	
アルゼンチン	1					2																		1	1	2	1					8	
イギリス	1	1	1	2	1	1		2	4		2			3	1		2		1				2	4	3	1		5	2			39	
イスラエル							1																									1	
イタリア	2			2	1	1									1	1						1	1	1			1	1				13	
イラク													1																	1		2	
インド																		1			1	1										3	
インドネシア																	1	1			1											3	
ウクライナ																			1	1									1			1	
エストニア																			1	1												2	
オーストラリア	1				1	1		1			2					1	1	1	2		1	1		1	2	2		2	1			21	
オランダ	1		1	1		1				1			2	1			1	1	1			1		1		2	2	1	2			20	
ガーナ											1																						1
カザフスタン									1																								1
カナダ				1						1		3								2		1		4	4	1	3	2	2				24
カンボジア													3						1														1
ギリシャ																												1					1
グアテマラ																											1						1
コロンビア																													1				1
ジャマイカ																											1						1
シンガポール												1				1										1	2		1				6
スイス	1				1		1				2	1	2	4	1									1			1						15
スウェーデン					1				1			1	1		1									1	1	1	1	4					12
スペイン					1				1	1	2	2		2																			9
セルビア				1																													1
タイ										1									1									1	1				4
チェコ				1				1											1					2	2								7
デンマーク				1		2	1		2			2	1	1	1	1	1			2	1		1		3								19
ドイツ									3	3	1	3	2	1								1	1		2		1						18
ニュージーランド							1												1						1				1				4
ノルウェー				1		1										4									1		1						8
パキスタン												1																					1
ハンガリー							1	1	1				1				1			1													6
バングラデシュ	1																																1
フィリピン																										1							1
フィンランド				1	1			1	2	1			3	2	1	1	1	1					1				1	1	1				19
ブラジル																								1									1
フランス						1							2	3	1	2	5	5	1	4	3	3	4	5	7	3	3	6	1	4			63
ペルー								1																1									2
ベルギー													1			1	1	2	2		1					1	1		1				11
ポーランド						1																											1
ボリビア										1						1	1																3
ポルトガル			1	1									1																				3
メキシコ						1																				1							2
ヨルダン												1																					1
ラオス																	2																2
ルーマニア									1		1																						2
ロシア連邦																							1										1
香港											1						3	2	7	2				2	1	2	1	5	4				30
台湾	1					1	3	1			1		2	3			2	1	1	4	4	3	6	2	2	2	3	4	2	3			51
大韓民国	3	2	1	2	2	3	3	3	1	2	4	1				2	1	3	1	1			2	6	1		4	5					53
中国		1			1										1							2	3	2	1			2	5	1	3		23
日本	50	32	31	28	32	18	22	21	27	32	21	17	20	15	19	20	17	17	22	21	24	40	17	27	36	26	30	24	24	47			777
総計	70	48	42	46	48	36	39	36	46	49	41	37	44	43	35	39	44	42	39	37	46	60	52	68	65	57	69	73	28	58			1,437

IV. 種別・年度別アーティスト滞在回数



滞在回数 年度	種別		総計
	guest	studio	
1992	38	32	70
1993	23	25	48
1994	13	29	42
1995	17	29	46
1996	23	25	48
1997	15	21	36
1998	12	27	39
1999	11	25	36
2000	14	32	46
2001	19	30	49
2002	12	29	41
2003	8	29	37
2004	11	33	44
2005	11	32	43
2006	11	24	35
2007	9	30	39

滞在回数 年度	種別		総計
	guest	studio	
2008	6	38	44
2009	8	34	42
2010	7	32	39
2011	7	30	37
2012	10	36	46
2013	15	45	60
2014	7	45	52
2015	25	43	68
2016	8	57	65
2017	17	40	57
2018	20	49	69
2019	13	60	73
2020	6	22	28
2021	6	52	58
総計	402	1,035	1,437

つつっこプログラムー子どもやきもの交流事業ー

滋賀県立陶芸の森「子どもやきもの交流事業」と陶芸の森内で活動を行う「世界にひとつの宝物づくり実行委員会」からなる、陶芸家に関わる「土」を素材とした体験事業「つつっこプログラム」は、令和3年度で20年目を迎えました。

地域の陶芸家やボランティア、学校などと共同して、子どもや障害者に古琵琶湖層からの贈り物である信楽の「土」を用いて、ものをつくることの喜びや感動、本物の芸術を体感できる教育プログラムを提供し、次世代の心豊かな人材育成に努めています。

また、つつっこプログラムは、第二期滋賀県教育振興基本計画において、滋賀県の自然や文化、地域を学ぶ体験活動のひとつとして位置づけられています。

本物と出会うー総合学習プログラム

陶芸の森来園プログラムと出張事業（連携事業）

小・中・高等学校を対象に陶芸の素晴らしさや陶芸の森を広めるために、学校へ出張授業や来園プログラムを進めています。学校・美術館・文化ボランティア・陶芸家の四者連携のプログラムです。

新型コロナウイルス感染対策について学校とともに対応策を検討しながらひとつひとつの授業やプログラムを進めました。

【令和3年度 子どもやきもの交流事業 実績】

番号	講座形態	実施件数	参加者数	備考
1	出張授業Ⅰ	121件	6,597人	※すべて 県内小中高等学校 (内美ココロ 5件 60人)
		7件	106人	美ココロパートナーシップ事業
2	ねんどと遊ぶ(来園制作)	4件	126人	一般の親子
3	研修会	1件	26人	連携授業関係者夏季美術館研修会
合 計		133件	6,855 人	幼児～高校生 6,821 人 大人 34 人 講座平均人数 51.5 人

制作体験授業風景



守山市立中州小学校 5年生
守山市小5体験
世界にひとつだけのオリジナル土面づくり



大津市立青山小学校 4年生
やまのこ学習で植物について学び、
その後、粘土で植木鉢づくり



大津市立膳所小学校 6年生
地域の伝統文化(膳所焼、膳所茶)にふれ、
日本文化茶道を学び、おもてなしの
できる器づくり

世界にひとつの宝物づくり

[滋賀県負担金、参加者負担金、その他の収入より運営]

「世界にひとつの宝物づくり実行委員会」が行っているこの事業は、「つつっこプログラム」の中でも、より「滋賀ならではの」体験ができるプログラムです。

ここ陶芸の森で、地元陶芸作家や地域ボランティアの協力により、地元の「土」という素材を用いて、陶芸家の技に触れ、ものをつくることの喜びや感動が体感できます。

幼児～大学生（特別支援学校生を含む）などの団体を随時受付し、鑑賞、見学、創作体験を組み合わせた活動を行いました。

新型コロナウイルス感染症による世の中の動きに合わせて、学校からの日程変更にも苦慮しました。校外学習の実施さえ危ぶまれる中ではありましたが、来園できた学校については、陶芸体験とともに、熱心に窯の広場の見学でスケッチをしたり、広場で思いっきり体を動かして活動したりしている子どもたち姿が印象的でした。

緊急事態宣言が解除になった10月、11月は多くの申し込みがあり、コロナ感染症以前の令和元年度よりも大幅に参加校が増加しました。

各講座では新型コロナウイルス感染症予防対策として、1回の講座開催人数やプログラム内容・講座での対応を見直しや、野外での制作や密を避けることで、安心してゆったりと制作してもらう工夫をしました。



滋賀県立信楽高等学校 陶芸館見学

【令和3年度 世界にひとつの宝物づくり 実績】

番号	講座形態	実施件数	参加者数	備考
1	来園制作 (学校)	34 件	1,337 人	内訳 県内学校 29 件 1,252 人 県外学校 3 件 46 人 特別支援学校 2 件 39 人
	(団体)	3 件	50 人	内訳 県内団体(放課後等デイ) 1 件 9 人 大塚オーミ JOMON イベント 2 件 41 人
2	来園見学	41 件	3,619 人	内訳 県内学校 33 件 2,673 人 県外学校 8 件 946 人
3	出張授業Ⅱ	3 件	30 人	内訳 支援学校・学級 2 件 18 人 滋賀県視覚障害者センター 1 件 12 人
4	特別講座	—	—	一般の親子 (中止)
5	研修会、研究会など	7 件	69 人	研修会 内訳 教職員(文化×共生 WS 内) 2 件 7 人 守山市教育委員会(下之郷史跡公園) 4 件 44 人 レイカディア大学 1 件 18 人
6	文化芸術×共生社会プロジェクト	5 件	69 人	ワークショップ
合計		93 件	5,174 人	幼児～大学生 5,097 人 大人 77 人 講座平均 55.6 人



産業の振興に関する事業

信楽窯業技術試験場との連携事業

(1) 試験場移転記念展に併せた取組み

移転記念展の開催を機に、かつて八木一夫や熊倉順吉らが試験場でデザインを手掛けた干支を商品化し、再生産に繋げる試作（ガチャガチャグッズ）に着手しました。

(2) 試験場研修生に対する滞在アーティスト等による講座の開催

滞在アーティストのトークショーに試験場研修生等を招き、アートやデザイン感覚の向上を図る機会を提供するなど、相互交流の場を設けて連携を深めました。

- ・アーティストトークショー（陶芸の森主催：計4回）　＜試験場参加者＞ 延29人
- ・窯元見学等／釉薬講義（試験場主催：計3回）　＜陶芸の森参加者＞ 延17人

人材育成事業

滋賀県立信楽高等学校への支援事業

信楽高等学校の各学年生徒に対し、陶芸の森で各種体験授業を行い、信楽高等学校地域支援協議会等の地域団体と連携して、地域での人材育成に努めました。

実施回数：5回　受講者数：159人

ア．デザイン科外部研修受け入れ（絵付け実習）

＜実施日＞令和3年10月21日（木）

＜参加者＞ 8人　デザイン系列3年

＜講師＞津守 愛香

3年生デザイン系列を対象とした、作家の指導による陶椅子への絵付け実習をおこないました。



イ．作家指導によるやきもの制作

＜実施日＞令和3年10月22日（金）

＜参加者＞28人　セラミック系列2年

＜講師＞青木 挙

講師が設定したテーマ（好きな文字を立体化して作品をつくる。）で、手びねり、たたら成型による制作おこないました。作家から造形、制作に関する考え方を学びました。



ウ. 陶芸の森施設見学

<実施日>令和3年10月26日（火）

<参加者>62人 1年生

1年生を対象に陶芸に関する知識と関心を高めるために、職員による講義をおこないました。その後、グループに分かれて陶芸の森の施設見学をおこない、陶芸文化への理解を深めました。



エ. 登り窯焼成実習

<実施日>令和3年10月29日（金）

<参加者>31人 セラミック系列2年

伝統的で大規模な登り窯の焼成を体験することで、陶芸作品に対する理解と作陶活動に対する意欲の向上を図りました。



オ. 野焼き体験実習

＜実施日＞令和3年11月19日（金）

＜参加者＞30人 セラミック系列2年

産業社会と人間で学んできた陶芸史の内容を実体験することで、陶芸に対する理解を深めました。作陶や造形、焼成作業をとおして野焼きについて学びました。



若手陶器産業後継者への支援事業（デザイン活性化事業）

陶芸館ミュージアムショップのがちゃがちゃの商品開発を目的に、作品の公募をおこないました。44点の応募があり、入賞3点を選びました。入賞作品は、陶芸の森ミュージアムショップのがちゃがちゃで販売しデザインの啓発の一環としました。

■主 催 滋賀県立陶芸の森

■後 援 信楽陶器工業協同組合、信楽陶芸作家協会

■募集期間 令和3年8月3日～12月26日

■応募点数 44点

■審査結果 金賞 松島 亜弓（石川県）、銀賞 家山 美祈（京都府）
銅賞 永田 真菜実（静岡県）

金賞



銀賞



銅賞



信楽産業展示館運営事業

展示会の開催（甲賀市が信楽焼振興協議会に委託）

期 間	展示内容	担 当	入館者数
令和 3年 4月 1日 令和 3年 10月 13日	信楽焼産業総合展	信楽陶器卸商業協同組合	39,752 人
令和 3年 10月 23日 令和 3年 12月 5日	岡本太郎と信楽展 「新しさ」の発見	岡本太郎と信楽展 実行委員会	23,777 人
令和 3年 12月 11日 令和 4年 3月 31日	信楽焼産業総合展	信楽陶器卸商業協同組合	13,669 人
			77,198 人 (71,374 人)

※入場者数の（ ）書きはR 2年度の実績

企画展 ギャラリー展示

期 間	テ ー マ	担 当
令和 3年 4月 1日 令和 3年 5月 16日	ほろ酔いうつわと地酒展	企画事業委員会
令和 3年 5月 22日 令和 3年 7月 4日	信楽焼ビアカップ展	企画事業委員会
令和 3年 7月 10日 令和 3年 8月 15日	いまどき、しがらき、かやりき展	企画事業委員会
令和 3年 8月 21日 令和 3年 9月 26日	やきもので繋ぐ JOMON×未来 ー多彩な表現展 2021ー	大塚オーミ陶業株式会社
令和 3年 10月 1日 令和 3年 10月 13日	飯碗と茶の器展	企画事業委員会
令和 3年 12月 18日 令和 4年 1月 16日	令和 4 年干支（壬寅）展	信楽陶器卸商業協同組合
令和 4年 1月 22日 令和 4年 3月 21日	信楽焼の動物展	企画事業委員会

その他の事業

陶芸の森ミュージアムショップ6センス

春の「神業ニッポン 明治のやきもの」展では展覧会出品作品の森村組を前身とするノリタケカンパニーリミテドのオマージュコレクションなど、華やかなティーアイテムを中心に揃えました。

夏から冬にかけての「Human and Animal」展では、展覧会オリジナルグッズをはじめ、出品作家の奈良美智のグッズ、出品作家の作品集を販売しました。前年の『陶芸の森 がちゃがちゃデザインコンペ 2019』金賞受賞の福留弘成さんによる、やきものの動物作品も販売しました。

また、昨年に引き続き「がちゃがちゃデザインコンペ 2020」の入賞者の作品をガチャガチャマシンで販売しました。昨年はすぐに売り切れてしまったので、今年度は、多くの方に楽しんでいただくため、1人1回制限をつけて販売し、沢山の方々に楽しんでいただくことができました。

■特集企画内容

- ・「神業ニッポン 明治のやきもの―幻の横浜焼・東京焼―」 令和3年4月1日(木)～6月6日(日)

特集：展覧会オリジナルグッズ、ノリタケカンパニーリミテドのティーカップ、カトラリー、関連書籍など。 売上合計 1,307,907円 (22,550円/日)

- ・「Human and Animal ―土に吹き込まれた命 21世紀陶芸の革新―

Part 1：6月29日(火)～9月5日(日)

Part 2：9月18日(土)～12月19日(日)

特集：展覧会オリジナルグッズ、出品作家・奈良美智グッズ、やきものの動物作品、出品作家の関連書籍など。 売上合計 4,890,992円 (35,442円/日)

- ・信楽窯業技術試験場移転記念展「JAPAN STYLE―信楽・クラフトデザインのあゆみ」

令和3年3月5日(土)～3月31日(木)

特集：展覧会出品の加藤達美、森正洋、柳宗理デザインの器をはじめ、信楽の出品作家の器、日本の伝統的な技術を守りながら、ユニークなデザインが斬新な手拭いや紙風船など。

売上合計 369,947円 (16,085円/日)

「Human and Animal」展のミュージアムショップ



収蔵品収集実績						
収蔵年度	区分	海外の現代陶芸	日本の現代陶芸	滋賀ゆかりの陶芸	クラフトと陶磁デザイン	計
平成元年～19年度	購 入	143	191	173	17	524
	寄 付	170	141	190	125	626
	計	313	332	363	142	1,150
平成21年度	購 入	0	0	0	0	0
	寄 付	11	7	38	10	66
	計	11	7	38	10	66
平成23年度	購 入	0	0	0	0	0
	寄 付	22	6	63	0	91
	計	22	6	63	0	91
平成25年度	購 入	0	0	0	0	0
	寄 付	3	17	92	11	123
	計	3	17	92	11	123
平成26年度	購 入	0	1	0	0	1
	寄 付	0	0	0	0	0
	計	0	1	0	0	1
平成27年度	購 入	0	0	1	0	1
	寄 付	11	5	31	7	54
	計	11	5	32	7	55
平成29年度	購 入	0	0	1	0	1
	寄 付	23	10	42	0	75
	計	23	10	43	0	76
平成30年度	購 入	0	0	5	0	5
	寄 付	17	35	11	1	64
	計	17	35	16	1	69
令和元年度	購 入	0	0	8	0	8
	寄 付	3	2	10	1	16
	計	3	2	18	1	24
令和2年度	購 入	0	3	2	0	5
	寄 付	1	11	1	0	13
	計	1	14	3	0	18
令和3年度	購 入	0	0	5	0	5
	寄 付	0	16	8	3	27
	窯試(移管)	0	11	20	15	46
	計	0	27	33	18	78
合 計	購入合計	143	195	195	17	550
	寄付合計	261	474	506	190	1,155
	窯試(移管)	0	11	20	15	46
総 計		404	456	701	190	1,751

2021（令和3）年度 滋賀県立陶芸の森 陶芸館 収蔵作品一覧

1. 購入 5件

分類番号	作者・窯（産地）	作品・資料名	制作年（代）	寸法（cm）	数量	作品写真	備考
SO-303	湖東焼・鳴鳳絵付	染付仙果文鉢	19C前半／江戸時代	高9.4×口径17.6×底径8.4	1		染付銘「湖東」「洞簫館／鳴鳳」 漢詩「仙家果／帶芝能／含笑」
SO-304	湖南焼・永樂保全	染付虎図蓋置	19C前半／江戸時代	高5.0×口径5.0（5.1）×底径4.1（4.2）	1		染付銘「湖南／永樂造」 漢詩「清風明月」
SO-305	湖南焼・永樂保全	染付祥瑞写輪花鉢	19C前半／江戸時代	高8.0×口径11.1×底径4.5	5		染付銘「於湖南／永樂造」
SO-306	三井御浜焼・永樂保全	色絵桜花文徳利	1857年／安政3	高15.5×口径3.6・4.0×胴径7.7×底径5.5	2		印刻銘「長等山」「三井御濱」
SO-307	梅林焼	交趾釉牡丹文手付鉢	18C後半／江戸時代	高12.9×幅20.6×奥行18.5	1		

2. 寄付 27件

分類番号	作者・窯（産地）	作品名	制作年（代）	寸法（cm）	数量	作品写真	備考
C-144	宇多 清吉	信楽壺形水指	1970 s / 昭和45-55	高16.1×口径10.4×胴径13.0×底径7.4	1		印刻銘「清」（底・蓋裏）
C-145	宇多 清吉	伊羅保釉煎茶器揃	1970 s / 昭和45-55	宝瓶=高7.1×幅10.1×奥行9.4×底径4.0／湯冷まし=高5.1×幅9.7×奥行8.8×底径4.1／茶碗=高4.5×口径7.5×底径3.5	7		印刻銘「清」（宝瓶・湯冷）
C-146	日根野 作三	抽象文皿	1970 s / 昭和45-55	高1.6×径12.4	5		
J-400	杉浦 康益	陶の植物園－ハウズキ	2008／平成20	高11.2×幅10.0×奥行8.7	1		箱書：蓋表「陶の植物園／ハウズキ／康／朱印（杉）」
J-401	杉浦 康益	陶の博物誌－ランの花	2007／平成19	高7.0×幅11.2×奥行12.1	1		箱書：蓋表「陶の博物誌／ランの花／康益／朱印（康）」
J-402	杉浦 康益	陶による植物誌－柘榴の実	2009／平成21	高13.0×幅15.7×奥行18.3	1		箱書：蓋表「陶による植物誌／柘榴の実／康益／朱印（康）」
J-403	富本 憲吉	鉄描銅彩野葡萄文壺	1929／昭和4	高20.8×口径8.0×胴径17.4×底径10.0	1		鉄絵銘「富」「信楽にて」
J-404	富本 憲吉	鉄描銅彩竹林月夜文皿	1950／昭和25	高6.8×口径30.4×底径16.4	1		鉄絵銘「富」 裏面「竹林月夜」高台「信楽にて」
J-405	富本 憲吉	鉄絵「風花雪月」字皿	1951／昭和26	高4.9×口径22.2×底径17.2	1		鉄絵銘「富」
J-406	富本 憲吉	鉄絵「花」字皿	1951／昭和26	高2.0×口径14.8×底径7.9	3		鉄絵銘「富」
J-407	富本 憲吉	赤絵染付「花」字皿	1956／昭和31	高2.3×口径15.2×底径6.7	1		染付銘「富」
J-408	富本 憲吉	書「風花雪月」	1951／昭和26	縦50.7×横56.0（軸装141.0×64.9）	1		墨書「千九百五十一年三月／信楽にて／憲吉／朱印（憲）」
J-409	富本 憲吉	書簡 平野敏三あて	1951／昭和26	縦14.3×横9.9（展開後=縦14.3×横31.7）	1		CI-015 関係資料
J-410	八木 一夫	鉄象嵌花壺	1959／昭和34	高29.2×口径12.8×底径6.1	1		陽刻印「※」
J-411	日根野 作三	青線文茶碗	1960-1970s／昭和35-55	高9.1×口径11.6×胴径16.8×腰径15.0×底径9.0	1		
J-412	濱田 庄司	柿釉網目文注瓶	c.1940 / 昭和15 年頃	高18.1×口径10.1・8.5×胴径17.3・13.0×底径9.3	1		
SO-308	湖東焼	染付詩文人図湯呑	19C前半／江戸時代	左=高6.3×口径7.4×底径4.2／右=高6.1×口径8.0×底径4.3	2		染付銘「湖東」 漢詩「江霞隔浦／人烟遠／湖水連天／雁点遥」
SO-309	湖東焼	蕎麦釉刷毛目葛屋形蓋物	19C前半／江戸時代	総高10.1×口径10.4（蓋径12.0）×底径5.3	1		亀形印刻銘「湖東」

分類番号	作者・窯（産地）	作品名	制作年（代）	寸法（cm）	数量	作品写真	備 考
SO-310	梅林焼	三彩野菜尽水滴	18C後半／江戸時代	高4.1×幅8.9×奥行7.9	1		
SO-311	瀬田（門平）焼・雲外、華鳳合筆	鉄絵句入小土瓶	19C-20C前半／明治時代－昭和時代	総高15.7×幅13.1×奥行10.0×口径7.0×底径6.0	1		鉄絵銘「セタ」（注口・蓋裏）、蓋表「勢多焼／雲外／華鳳／合筆／小土瓶」蓋裏「昭和巳酉水無月／門平識（花押）」
SO-312	信楽焼（近世）	大壺	17C-18C／江戸時代	高43.5×口径15.0×胴径36.2×底径18.0	1		
SO-313	信楽焼・信光山（今井萬五郎）	あられ大壺	19C前半／江戸時代	高57.5×口径17.5×胴径44.5×底径20.0	1		印刻銘「信楽」「信光山」墨書（底）「文」
SO-314	信楽焼（近世）	掛流茶壺	19C後半／明治時代	高37.4×口径17.2×胴径28.6×底径14.0	1		
SO-315	信楽焼・今井成平	掛流茶壺	19C前半／江戸時代	高32.0（蓋無）×口径12.1×胴径29.2×底径13.8	1		印刻銘「成」
FJ-131	今野 朋子	Life Bowl	2019／令和元	高112.0×径101.0	1		滋賀県立陶芸の森創作研修館居て制作 第12回 国際陶磁器展美濃出品作
FJ-132	川尻 潤	こわれていてもかがやきながらここにいます VOL.3	2021／令和3	高128.2×幅122.5×奥行106.8	1		滋賀県立陶芸の森創作研修館居て制作
FJ-133	川尻 潤	はなれていてもかがやきながらつながっています	2021／令和3	高87.4×幅45.5×奥行41.3	1		滋賀県立陶芸の森創作研修館居て制作

3. 移管 46件（滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場から）

分類番号	作者（デザイン）・窯（産地）	作品名	制作年（代）	寸法（cm）	数量	作品写真	備 考
CI-001	旭焼	釉下彩装飾タイル（一括）	1890-1896／明治23-29		29		裏面「大日本東京深川区東元町旭焼製造場」
CI-002	信楽模範工場	色絵花鳥文稜花皿	1903-1905／明治36-38	高4.2×幅20.0・20.6×底径	1		赤絵銘「信楽模範工場」見込「謹賀新年／村田（甚）太郎」
CI-003	滋賀県立窯業試験場	カップ＆ソーサー	c.1932／昭和7年頃	カップ＝高5.5×幅11.6×奥行（口径）9.3×底径4.3／ソーサー＝高2.1×径14.0×底径6.7	2		
CI-004	滋賀県立窯業試験場	カップ＆ソーサー	1932／昭和7	カップ＝高5.0×幅11.8×奥行（口径）9.5×底径4.3／ソーサー＝高2.3×径14.7×底径7.8	4		印刻銘「志からき」、第1回官公立試験研究指導機関試作 輸出向工芸品展覧会出品作
CI-005	滋賀県立窯業試験場	キャンドルスタンド	1938／昭和13	高16.8×口径3.8×幅12.4×奥行12.2×底径7.1	1		第6回貿易局輸出工芸展覧会出品作
CI-006	滋賀県立窯業試験場	キャンドルスタンド	c.1938／昭和13年頃	高17.2×幅15.7×奥行3.9	1		
CI-007	滋賀県立窯業試験場	瑠璃釉ポット・カップ	1935-1944／昭和10-19	ポット＝高20.0×幅21.0×奥行13.0／カップ＝高11.0×幅12.5×奥行10.0	4		
CI-008	滋賀県立窯業試験場	瑠璃釉灰皿セット	1935-1944／昭和10-19	灰皿＝高4.5×幅8.0×奥行7.4×口径9.3×底径8.9／台＝高2.9×径18.8×底径10.2 *組立時＝高16.8	5		
CI-009	日本陶器株式会社	琵琶湖ホテル用コーヒースセット	1937-1941／昭和12-16	クリーマー＝高9.0×幅11.0×奥行8.2／シュガーポット＝高11.4×幅15.4×奥行9.8／カップ＝高6.4×幅10.3×奥行（口径）8.2／ソーサー＝高2.0×口径14.1	3		裏印「日本陶器会社／RC／NORITAKE／NIPPON TOKI KAISHA」、裏印年号（クリーマー：1937、カップ：1941、ソーサー：1937）
CI-010	滋賀県立窯業試験場	プロッター	c.1942／昭和17年頃	高1.8×幅6.8×奥行13.5	1		
CI-011	滋賀県立窯業試験場	筆架（鉛筆置）	c.1942／昭和17年頃	高2.5×幅6.6×奥行6.7	2		
CI-012	高橋楽斎（三代）	伊羅保釉草花文水注	1935-1940／昭和10-15	高25.7×幅26.5×奥行13.0	1		印刻銘「楽斎」
CI-013	滋賀県立窯業試験場（デザイン＝濱田庄司）	宮内省御用火鉢	1942／昭和17	高27.2×口径41.6×胴径41.0×底径35.6	1		印刻銘「窯試」

分類番号	作者（デザイン）・窯（産地）	作品名	制作年（代）	寸法（cm）	数量	作品写真	備考
CI-014	滋賀県立窯業試験場（デザイン=濱田庄司）	鉄砂釉灰皿	1947/昭和22	高6.5×胴径15.5×底径	1		印刻銘「窯試」
CI-015	滋賀県立信楽窯業試験場（絵付=富本憲吉）	鉄描銅彩「富貴」字火鉢	1951/昭和26	高26.3×口径40.0×胴径40.5×底径28.8	1		鉄絵銘「富」、印刻銘「窯試」
JI-001	河井 寛次郎	青葉坂 扁壺	1941-1944/昭和16-19	高19.9×幅26.5×奥行11.8×底15.4×6.4	1		証紙貼付 「日本陶磁器工業組合聯合会」/2 合格
JI-002	河井 寛次郎	呉須辰砂蓋物	1941-1944/昭和16-19	高9.8×幅12.2×奥行13.4×底7.1・7.6	1		
JI-003	河井 寛次郎	辰砂蓋物	1941-1944/昭和16-19	高10.0×幅12.5×奥行12.5×底8.8	1		
JI-004	河井 寛次郎	白地草花文隅切鉢	1941-1944/昭和16-19	高7.6×幅20.3×奥行20.0×底17.4・17.6	1		
JI-005	濱田 庄司	鉄絵丸文水指	1941-44/昭和16-19	高19.4×口径13.4×胴径18.2×底径10.9	1		
JI-006	濱田 庄司	白釉笹文鉢	1939-43/昭和14-18	高9.8×口径17.4×胴径18.2×底径8.4	1		マル藝証紙貼付「藝/栃木県」
JI-007	濱田 庄司	柿釉丸文皿	1939-43/昭和14-18	高3.2×口径17.6×底径8.6	6		マル藝証紙貼付「藝/栃木県」
JI-008	濱田 庄司	打掛湯呑	1951/昭和26	高8.6×口径8.2×胴径8.2×底径5.0	1		
JI-009	濱田 庄司	掛分徳利	1941-1943/昭和16-18	高14.0×口径2.2×肩径6.0×胴径8.4×底径7.0	2		
JI-010	濱田 庄司	柿釉青差鉢	1941-1943/昭和16-18	高6.3×口径18.6×胴径19.8×底径10.4	1		
JI-011	不明（濱田庄司か）	色絵盃	1941-1943/昭和16-18	高3.4×口径6.0×底径3.3	1		
SCI-001	信楽焼（近代）	耳付茶壺	20C前半/昭和時代	高35.0×口径9.5×胴径33.0×底径12.3	1		
SCI-002	八田焼・武藤重生（佐兵衛窯十三代）	かわらけ	1990/平成2	高2.7×口径11.3×底径5.5	1		秋篠宮御成婚記念
SCI-003	八田焼・武藤重國（佐兵衛窯十四代）	白萩釉茶碗	c.1985/昭和60年頃	高7.7×口径12.8×底径5.0	1		印刻銘「重平」
SCI-004	復興膳所焼（陽炎園）	オランダ写水指	20C前半/大正8-昭和時代	高13.9×口径19.4×底径15.8	1		陽刻銘「せ々」
SCI-005	復興膳所焼（陽炎園）	鉄釉耳付花瓶	20C前半/大正時代-昭和時代	高19.5×口径15.5×底径6.1	1		陽刻銘「せ々」
SCI-006	復興膳所焼（陽炎園）	鉄釉耳付花入	1962 / 昭和37	高24.2×口径3.4×頸径2.5×胴径11.0×底径6.5	1		印刻銘「せ々」
SCI-007	下田焼	瑠璃釉湯呑	1993-1994/平成5-6	高6.7×口径8.0×底径4.8	1		
SOI-001	古信楽	種壺	15-16C/室町時代	高12.7×口径12.5×胴径15.3×底径13.0	1		信楽町多羅尾の畑から出土、 （底）下駄印あり
SOI-002	古信楽	甕	15C中頃/室町時代	高29.5×口径26.0×胴径30.0×底径26.5	1		信楽町内の古墓からSOI-003とともに出土
SOI-003	古信楽	搦鉢	c.1458/長禄2年頃	高11.3×口径31.2	1		墨書 見込「南無阿弥陀仏」外面 「諸行無常/是生滅法/生滅口以 寂滅以楽/長禄二年五月十四
SOI-004	信楽焼（近世）	盃台	18-19C前半/江戸時代	高8.0×最大径14.5×口径5.8×底径6.0	1		
SOI-005	信楽焼（近世）	腰白茶壺	18C/江戸時代	高40.0×口径×胴径30.8×底径14.5	1		

分類番号	作者（デザイン）・窯（産地）	作品名	制作年（代）	寸法（cm）	数量	作品写真	備 考
SOI-006	伝・湖東焼	染付火入	19C前半／江戸時代	高16.0×口径15.0・16.0×胴径18.2・17.5×底径16.0・16.2	1		
SOI-007	湖南焼・永樂保全	染付盃洗	19C前半／江戸時代	高11.0×口径11.0×頸径9.0×底径5.8	1		染付銘「大日本湖南／長等山永樂造」
SOI-008	下田焼	鉄絵おろし器	20C前半／明治時代－昭和時代	高4.7×口径19.2×底径8.3／高4.7×口径19.4×底径8.0	2		
SOI-009	下田焼・扇吉	鉄絵笹文鉢	20C前半／明治時代－昭和時代	高6.1×口径9.2・9.4×底径9.8	1		鉄絵銘「扇吉」
SOI-010	八田焼	染付梅花文徳利	19C後半／明治時代	高15.2×口径3.7・3.2×頸径2.5×底径7.0	1		
SOI-011	八田焼	鉄絵梅花文ニツ口土瓶	20C前半／昭和時代	高11.0×口径9.0×幅21.9×奥行12.9×底径7.2	1		
SOI-012	八田焼	刷毛目小壺	1926-1989／昭和時代	高4.2×口径4.1×胴径6.8×底径4.0／高4.2×口径3.9×胴径6.6×底径3.8	2		
SOI-013	不明	かわらけ各種・御神酒徳利	20C前半／昭和時代	徳利：高11.2×口径3.0×胴径6.1×頸径4.5×底径6.3／赤（賜饌）：高1.8×口径10.6×底径5.8／白（賜饌）：高1.7×口径10.6×底径5.8／白（菊桐）：高1.7×口径8.7×底径4.5／白（桐）：高1.8×口径8.8×底径4.2／白（鳳凰）：高2.7×口径9.2×底径3.8／菊寿字文盃：高1.5×口径8.0×底径3.0	7		徳利・賜饌（赤）・賜饌（白）：六角印「信楽」「昭和三年 於大津十一月十六日」／菊桐紋・桐紋：角印「熱田神宮」／白鷺紋：「白山神社」

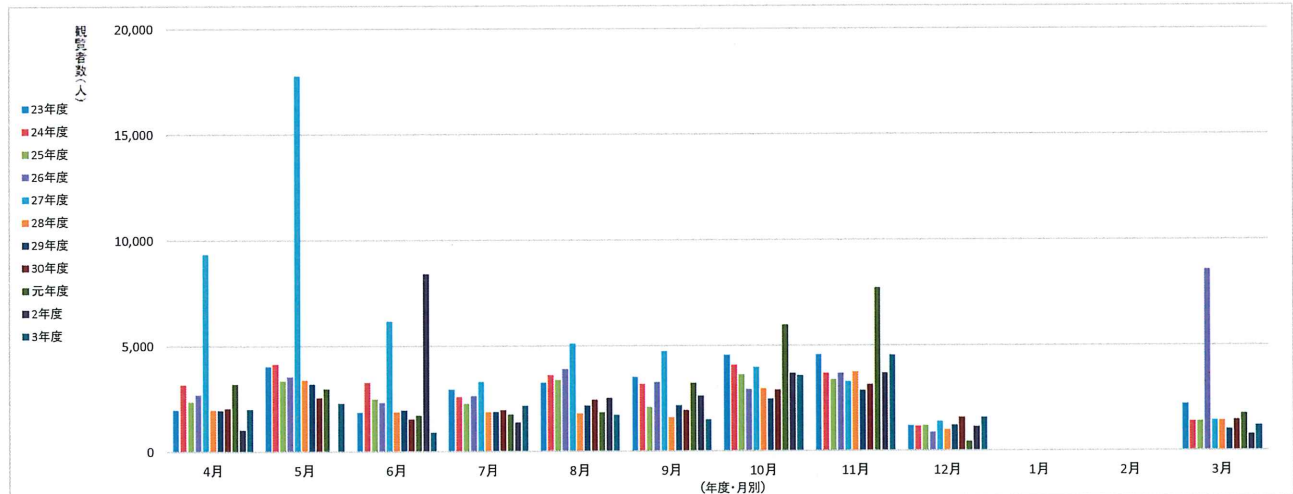
施設利用実績 陶芸の森 年度別・月別入園者数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1ヶ月平均
15～22年度	253,056	318,805	178,548	177,995	194,121	243,735	437,289	267,781	112,707	87,666	130,072	161,734	2,563,509	35,604
23年度	23,404	38,330	19,042	19,207	19,945	26,336	55,483	39,456	17,875	11,737	13,386	19,112	303,313	25,276
24年度	24,902	39,253	19,453	18,772	23,856	22,288	53,241	39,380	17,772	13,793	16,279	24,130	313,119	26,093
25年度	31,090	51,404	26,371	21,131	25,777	28,047	55,580	36,874	17,039	12,052	13,247	19,779	338,391	28,199
26年度	27,903	52,863	21,987	21,522	23,390	28,955	48,100	40,276	12,544	11,406	15,256	32,188	336,390	28,033
27年度	39,836	73,243	29,028	25,346	27,845	37,850	58,307	35,315	17,601	13,201	17,855	24,811	400,238	33,353
28年度	28,390	58,906	22,453	24,009	33,151	32,853	63,790	42,067	20,890	13,885	18,182	28,485	387,061	32,255
29年度	32,741	56,846	26,342	24,921	29,880	27,222	46,184	35,737	18,851	13,312	16,511	25,234	353,781	29,482
30年度	31,960	54,517	24,324	20,129	27,459	23,614	49,910	36,170	19,258	14,468	17,476	26,879	346,164	28,847
元年度	33,588	67,724	23,730	22,173	24,597	47,034	48,296	69,062	26,434	28,992	36,528	20,399	448,557	37,380
2年度	16,552	10,075	34,672	26,676	29,955	56,347	39,741	42,579	20,092	15,960	22,400	24,843	339,892	28,324
3年度	29,720	31,126	24,564	44,035	21,200	26,815	37,754	61,861	18,746	15,072	16,716	24,550	352,159	29,347
合 計	573,142	853,092	450,514	445,916	481,176	601,096	993,675	746,558	319,809	251,544	333,908	432,144	6,482,574	362,193

※合計は入園者の計測開始年度（平成15年度）以降の計

陶芸館 年度別・月別観覧者数

年度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
3～	入場者数	72,947	111,012	78,459	83,495	112,453	92,566	111,280	118,421	35,188	22,253	29,200	54,521	921,795	177
22年度	開催日数	484	485	454	481	522	451	519	493	333	274	286	422	5,204	
23年度	入場者数	1,978	4,020	1,850	2,936	3,251	3,501	4,544	4,558	1,189	0	0	2,192	30,019	128
	開催日数	22	27	18	27	26	26	26	26	10	0	0	26	234	
24年度	入場者数	3,152	4,131	3,274	2,576	3,600	3,170	4,067	3,666	1,152	0	0	1,390	30,178	128
	開催日数	26	27	26	22	26	22	26	26	14	0	0	20	235	
25年度	入場者数	2,356	3,343	2,481	2,268	3,371	2,083	3,605	3,380	1,194	0	0	1,385	25,466	109
	開催日数	26	27	20	26	28	19	28	26	13	0	0	20	233	
26年度	入場者数	2,687	3,535	2,305	2,634	3,882	3,258	2,917	3,674	868	0	0	8,562	34,322	146
	開催日数	26	28	20	27	27	24	23	26	13	0	0	21	235	
27年度	入場者数	9,336	17,767	6,172	3,292	5,110	4,715	3,955	3,284	1,375	0	0	1,425	56,431	251
	開催日数	26	27	20	27	26	21	24	25	12	0	0	17	225	
28年度	入場者数	1,958	3,365	1,865	1,864	1,790	1,596	2,969	3,741	994	0	0	1,414	21,556	94
	開催日数	26	26	21	27	26	20	29	26	10	0	0	18	229	
29年度	入場者数	1,954	3,187	1,951	1,866	2,154	2,161	2,470	2,848	1,199	0	0	1,003	20,793	90
	開催日数	26	26	20	26	27	21	26	26	15	0	0	19	232	
30年度	入場者数	2,032	2,539	1,519	1,940	2,428	1,930	2,889	3,130	1,569	0	0	1,437	21,413	93
	開催日数	26	26	21	26	27	21	22	26	17	0	0	18	230	
元年度	入場者数	3,192	2,961	1,710	1,748	1,836	3,208	5,972	7,706	431	0	0	1,747	30,511	150
	開催日数	26	27	20	26	26	19	26	26	1	0	0	6	203	
2年度	入場者数	1,017	0	8,397	1,367	2,529	2,600	3,683	3,665	1,116	0	0	764	25,138	154
	開催日数	9	0	24	12	26	20	25	25	12	0	0	10	163	
3年度	入場者数	1,994	2,281	901	2,162	1,717	1,488	3,563	4,521	1,561	0	0	1,182	21,370	98
	開催日数	26	26	8	27	24	16	27	25	17	0	0	23	219	
合 計	入場者数	104,603	158,141	110,884	108,148	144,121	122,276	151,914	162,594	47,836	22,253	29,200	77,022	1,238,992	1,618
	開催日数	749	752	672	754	811	680	801	776	467	274	286	620	7,642	



陶芸館展覧会別観覧者数

収蔵品展・特別企画展

年度	展覧会名	会 期	開催日数	観覧者数	一日平均
3 年度	世界の現代陶芸展	H3.7.20～12.15	128	41,006	320
	世界の現代陶芸展Ⅱ	H4.2.12～3.19	32	6,179	193
	世界の現代陶芸展Ⅲ	H4.5.12～9.30	121	35,717	295
4 年度	世界の現代陶芸展	H4.9.18～9.30	11	4,141	376
	朝日陶芸展'92	H4.12.1～H5.3.19	78	9,785	125
	世界の現代陶芸展 (森で生まれた作品展)	(H5.3.2～3.14)			
5 年度	世界の現代陶芸展	H5.6.1～9.3	82	20,043	244
	世界の現代陶芸展	H5.11.3～H6.2.27	104	17,072	164
	世界の現代陶芸展 (森で生まれた作品展)	(H6.3.1～3.13)			
6 年度	世界の現代陶芸展	H6.6.12～9.15	83	18,667	225
	世界の現代陶芸展	H6.12.3～H7.3.10	75	7,141	95
	特別企画展(森で生まれた作品展)	(H7.2.25～3.10)			
7 年度	世界の現代陶芸展	H7.6.3～7.13	35	7,353	210
	パプアニューギニアの土器展	H7.7.18～10.15	78	23,407	300
	世界の現代陶芸展 (森で生まれた作品展)	H7.11.25～H8.3.17 (H8.3.5～3.17)	90	11,377	126
8 年度	陶芸の森新館蔵品展	H8.5.25～7.7	38	9,803	258
	陶芸の森新館蔵品展	H8.7.11～9.23	65	21,652	333
	陶芸の森新館蔵品展 (森で生まれた作品展)	H8.11.30～H9.3.7 (H9.2.5～3.7)	74	6,955	94
9 年度	新・収蔵品展	H9.5.31～7.9	34	6,332	186
	変貌する陶芸展	H9.7.13～9.14	55	14,185	258
	陶の表現展 (森で生まれた作品展)	H9.11.1～H10.3.15 (H10.2.4～3.15)	108	16,585	154
10年度	新・収蔵品展	H10.6.6～7.4	25	3,766	151
	滋賀やきもの探訪・やきもの動物の森展	H10.9.12～12.23	88	17,597	200
	陶芸の美展 (森で生まれた作品展)	H11.1.5～H12.3.14 (H11.2.3～3.14)	59	5,817	99
11年度	美の所産展	H11.5.29～7.4	32	5,612	175
	陶芸...使うこと・味わうこと展	H11.7.10～9.26	68	13,483	198
	アーティスト・イン・レジデンス90年代の歩み展	H11.12.5～H12.3.11	77	5,835	76
12年度	滋賀やきもの探訪「信楽焼ー伝統の技」	H12.5.20～7.9	44	7,356	167
	滋賀やきもの探訪「陶芸の森コレクションから」	H12.7.15～9.17	56	10,257	183
	「陶芸ー最前線」	H12.12.23～H13.3.11	61	3,868	63
13年度	陶芸の森10年の歩みⅠー世界の現代陶芸	H13.7.14～9.24	63	10,074	160
	女性たちの陶芸展・女流陶芸と欧米作家たちとの競演	H13.12.1～H14.1.27	43	4,361	101
	陶芸の森10年の歩みⅡー滋賀ゆかりのやきもの・日本の現代陶芸	H14.2.2～3.31	44	4,542	103
14年度	特別企画展「ルーシー・リー展ー静寂の美ー」	H14.4.6～6.30	74	12,189	165
	収蔵品によるテーマ展「古くて、新しい表現...陶の可能性」	H14.12.3～H15.3.30	96	6,123	64
	企画展「まぼろしのやきものー滋賀の郷土」	H15.4.4～8.22	121	20,270	168
15年度	特別企画展「神々の形象 パプアニューギニアの土器」	H16.3.20～3.31	10	1,122	112
	特別企画展「神々の形象 パプアニューギニアの土器」	H16.4.1～7.30	104	13,161	127
	特別企画展「信楽のやきものとともにー寒六窯と遊陶人」	H16.11.23～12.15	20	3,106	155
17年度	特別企画「日本の現代陶芸・海外の現代陶芸ー迫力の時代」	H17.6.19～9.25	85	10,038	118
18年度	特別企画「信楽を訪れた594人の陶芸家たちーアーティスト・イン・レジデンスの軌跡」	H18.7.4～9.24	72	7,924	110
19年度	特別企画「魅せられる...今、注目される日本の陶芸」	H19.6.10～9.24	92	10,771	117
20年度	特別企画「やきもの動物パラダイス」&「滋賀のやきもの」展	H20.9.21～3.31	95	15,935	168
21年度	特別企画「やきもの動物パラダイス」&「滋賀のやきもの」展	H21.4.1～4.12	11	1,561	142
	特別企画展「陶の“うつわ”と“かたち”」	H21.4.19～6.28	62	8,694	140
	Part 1 使ってみよう！愉しみの“うつわ”／心を潤す癒しの“かたち” 特別企画展「陶の“うつわ”と“かたち”」	H21.7.5～9.12	60	7,812	130
22年度	Part 2 華やかと味わいの“うつわ”／驚きと発見！ユーモラスな“かたち” 特別企画展「わくわくミュージアムーちょっと不思議で楽しい“やきもの”」	H22.6.26～9.10	66	8,053	122
	特別企画展「近江に花開いたやきものー街道とともに...」	H23.3.1～3.31	27	1,889	70
	特別企画展「近江に花開いたやきものー街道とともに...」	H23.4.1～4.17	15	1,307	87
23年度	特別企画展「陶芸を楽しむ“グ・ル・メ”な、やきものたち」	H23.6.30～12.11	142	20,019	141
25年度	特別企画展「あれもやきもの これもやきものー陶芸の森アーティスト・イン・レジデンス20年のあゆみー」	H25.6.18～9.23	85	8,947	105
	特別企画展「現代イギリスの陶芸ーバーナード・リーチから若手作家まで」	H25.3.8～3.30	20	1,385	69
	特別企画展「信楽焼の美ー炎が作り出す野趣溢れる肌合い」	H26.4.1～6.22	73	8,323	114
26年度	特別企画展「信楽焼の美ー炎が作り出す野趣溢れる肌合い」 特別企画展「集まれ！奇想天外な“やきもの”たち」		78	9,978	128
27年度	特別企画「土・折り・イマジネーション...岡本太郎の言葉とともに」展	H27.6.14～9.23	88	14,974	170
28年度	特別企画展「インサイド×アウトサイドー陶芸の森アート・クルーズ」	H28.6.19～9.23	83	6,314	76
	特別企画「うつわ」ドラマチック」展	H29.3.11～3.31	18	1,414	79
	特別企画「うつわ」ドラマチック」展	H28.4.1～6.11	62	6,217	100
29年度	特別企画「十人陶色ー豊かな色の世界」展	H29.6.20～9.24	84	7,056	84
	特別企画「ジャズ・スピリットを感じて...熊倉順吉の陶芸×21世紀の陶芸家たち」展	H30.3.10～3.31	19	1,003	53
	特別企画「ジャズ・スピリットを感じて...熊倉順吉の陶芸×21世紀の陶芸家たち」展	H30.4.1～6.17	67	5,773	86
30年度	特別企画「世界の形象土器」展	H30.6.24～9.24	77	6,615	86
	特別企画「陶の花 FLOWERS」展	H31.3.12～3.31	18	1,437	80
	特別企画「陶の花 FLOWERS」展	H31.3.12～R元.6.9	78	8,645	110
元年度	特別企画「交流と実験ー新時代のくやきもの」をめざして」展	R元.6.18～9.6	69	4,552	66
2 年度	特別企画「湖国・滋賀の陶芸ー風土と伝統そして交流のなかで」展	R2.7.18～9.22	58	6,496	112
3 年度	信楽窯業技術試験場移転記念展「ジャパン・スタイルーやきものXデザインX生活」	R4.3.5～3.31	23	1,182	51
合 計			4,063	617,634	152

陶芸館展覧会別観覧者数

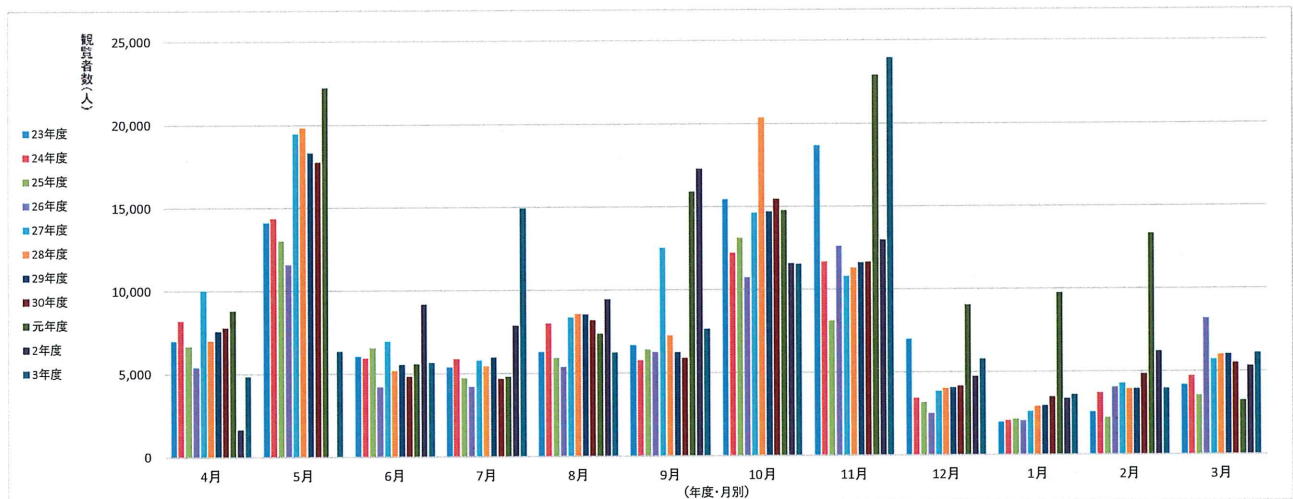
特別展・公募展

年度	展覧会名	会 期	開催日数	観覧者数	一日平均
3 年度	おしゃべりなティポット展	H4.1.5～2.11	32	4,265	133
	近江のやきもの展	H4.3.20～3.31	10	2,786	279
4 年度	近江のやきもの展	H4.4.1～5.10	35	10,943	313
	現代イタリア陶芸展	H4.10.10～11.23	39	8,389	215
	熊倉順吉とその仲間たち	H5.3.20～3.31	10	1,355	136
5 年度	熊倉順吉とその仲間たち	H5.4.1～5.30	52	9,058	174
	八木一夫が出会った子供たち	H5.9.4～10.31	50	7,840	157
	エイドリアン・サックス展	H6.3.20～3.31	10	1,180	118
6 年度	エイドリアン・サックス展	H6.4.1～6.5	57	6,724	118
	近江のやきもの展	H6.9.20～11.27	60	12,094	202
	現代イギリス陶芸展	H7.3.19～3.31	11	1,300	118
7 年度	現代イギリス陶芸展	H7.4.1～5.28	50	7,494	150
	トプカブ宮殿の名品展	H7.10.21～11.19	26	10,650	410
	凛－現代の陶芸美	H8.3.23～3.31	8	1,774	222
8 年度	凛－現代の陶芸美	H8.4.1～5.19	42	12,445	296
	明治のやきもの	H8.9.29～11.24	49	14,794	302
	画家たちのやきもの	H9.3.15～3.31	14	2,580	184
9 年度	画家たちのやきもの	H9.4.1～5.25	48	11,053	230
	バーナード・リーチ展	H9.9.20～10.26	32	11,125	348
	つくり手たちの原像展	H10.3.21～3.31	9	1,918	213
10年度	つくり手たちの原像展	H10.4.1～5.31	53	10,782	203
	セーブル名品展	H10.7.11～9.6	50	11,407	228
	なんてき・れ・いなんて不思議展	H11.3.20～3.31	10	1,892	189
11年度	なんてき・れ・いなんて不思議展	H11.4.1～5.23	46	12,417	270
	やきものの2 0 世紀	H11.10.2～11.28	50	14,147	283
	アール・ヌーヴォーとアール・デコの陶芸展	H12.3.19～3.31	11	1,866	170
12年度	アール・ヌーヴォーとアール・デコの陶芸展	H12.4.1～5.14	38	8,514	224
	「熊倉順吉ジャズの響きをやきものにした作家」	H12.9.23～12.17	74	9,155	124
	「イタリア陶磁器の伝統と革新－ジノリ展」	H13.3.18～3.31	12	1,418	118
13年度	「イタリア陶磁器の伝統と革新－ジノリ展」	H13.4.1～5.20	43	10,730	250
	「ドイツ陶芸の100年－アール・ヌーヴォーから現代作家まで」	H13.5.27～7.8	37	6,234	168
	「大信楽展～焼締めの美への憧れとその軌跡～」	H13.10.2～11.25	48	11,195	233
14年度	特別展「スイスの陶芸－ルネッサンスから現代まで－」	H14.7.9～9.8	54	8,005	148
	特別展「暮らしに美を求めて－陶磁器試験場の技術とデザイン」	H14.9.15～11.24	61	8,552	140
	特別展「桃山陶に魅せられた七人の陶芸家－陶片に学んだ技と美」	H15.8.30～10.13	39	7,698	197
15年度	特別展「ロシア・アヴァンギャルドの陶芸－モダンデザインの実験」	H15.10.21～11.30	37	6,514	176
	特別展「デンマーク王室の陶磁コレクション－ロイヤル・コペンハーゲン」	H16.8.8～11.14	85	15,261	180
	特別展「北欧のスタイリッシュ・デザイン－フィンランドのアラビア窯」	H17.3.19～3.31	11	1,706	155
16年度	特別展「北欧のスタイリッシュ・デザイン－フィンランドのアラビア窯」	H17.4. 1～6.12	63	13,586	216
	特別展「湖国を彩るやきもの－滋賀の陶芸家たち」	H17.10.2～12.18	67	10,330	154
	特別展「人のかたち－もうひとつの陶芸美」	H18.3.18～3.31	12	1,104	92
17年度	特別展「人のかたち－もうひとつの陶芸美」	H18.4.1～6.25	75	8,431	112
	特別展「近江やきものがたり」	H18.10.1～12.17	67	9,737	145
	特別展「ようこそ！たぬき御殿へ－おもしろき日本の狸表現」	H19. 3.17～3.31	12	2,482	207
18年度	特別展「ようこそ！たぬき御殿へ－おもしろき日本の狸表現」	H19.4.1～6.3	56	13,301	238
	特別展「ジャポニズムのテーブルウェア－西洋の食卓を彩った“日本”－」	H19.10.2～12.24	73	9,025	124
	特別展「近江の商家のくらしとやきもの」	H20/3.15～3.30	14	1,960	140
19年度	特別展「近江の商家のくらしとやきもの」	H20.4.1～6.29	80	12,935	162
	特別展「世界に誇る和製テーブルウェア－オールドノリタケと懐かしの洋食器」	H20.7.6～9.15	62	10,141	164
	特別展「没後50年 北大路魯山人」	H21.9.19～12.13	75	23,496	313
20年度	特別展「ハンス・コパー展－20世紀陶芸の革新－」	H21.3.13～3.31	16	1,340	84
	特別展「ハンス・コパー展－20世紀陶芸の革新－」	H22.4.1～6.17	68	8,389	123
	特別展「しがらきやき－直方の茶陶 春斎の壺－」	H22.9.18～12.12	82	14,004	171
21年度	特別展「ウィリアム・ド・モーガン－楽しい生活を彩るタイルと陶器」	H23.4.23～6.19	50	6,501	130
	特別展「陶芸の魅力×アートのドキドキ」	H24.3.3～3.31	25	2,192	88
	特別展「陶芸の魅力×アートのドキドキ」	H24.4.1～7.6	84	11,222	133
22年度	特別展「明治・大正時代の日本陶磁－産業と工芸美術－」	H24.7.14～8.26	43	5,511	128
	特別展「しがらきやきⅡ－大西忠左と勅旨の名工たち－」	H24.9.6～12.16	88	12,055	137
	特別展「フランス印象派の陶磁器 1866-1886ジャポニズムの成熟」	H25.3.9～3.31	20	1,390	69
23年度	特別展「フランス印象派の陶磁器 1866-1886ジャポニズムの成熟」	H25.4.1～6.9	61	6,955	114
	特別展「酒器の玉手箱」	H25.10.2～12.15	66	8,179	124
	特別展「やきものって何ダ？－陶芸美術館 8 館の名品に学ぶ」	H26.10.5～12.14	61	7,459	122
24年度	特別展「北欧スウェーデンの動物のやきもの リサ・ラーソン展」	H27.3.7～3.31	21	8,562	408
	特別展「北欧スウェーデンの動物のやきもの リサ・ラーソン展」	H27.4.1～6.22	59	31,418	533
	特別展「信楽への眼差し」	H27.10.4～12.13	61	8,614	141
25年度	公募展「マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今－伝統と革新」	H28.3.12～3.31	17	1,425	84
	公募展「マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今－伝統と革新」	H28.4.1～6.12	63	6,124	97
	特別展「珠玉の湖東焼」	H28.10.1～12.11	65	7,704	119
26年度	特別展「粋な古伊万里－江戸好みの器デザイン」	H29.10.1～12.17	67	6,517	97
	特別展「信楽に魅せられた美の巨匠たち」	H30.10.6～12.20	65	7,588	117

年度	展覧会名	会 期	開催日数	観覧者数	一日平均
元年度	特別展「北大路魯山人 古典復興－現代陶芸をひらく」	R元.9.14～12.1	67	17,004	254
	特別展「リサ・ラーソン－創作と出会いをめぐる旅」	R2.3.25～3.31	6	1,747	291
2年度	特別展「リサ・ラーソン－創作と出会いをめぐる旅」	R2.4.1～6.28	33	9,414	285
	特別展「奇跡の土－信楽焼をめぐる三つの景色」	R2.10.3～12.13	62	8,464	137
	特別展「神業ニッポン 明治のやきもの－幻の横浜焼・東京焼」	R3.3.20～3.31	10	764	76
3年度	特別展「神業ニッポン 明治のやきもの－幻の横浜焼・東京焼」	R3.4.1～6.6	58	5,097	88
	特別展「Human and Animal 土に吹きこまれた命 21世紀陶芸の最先端」Part1 子どもたちとともに	R3.6.29～9.5	58	4,276	74
	特別展「Human and Animal 土に吹きこまれた命 21世紀陶芸の最先端」Part2 アーティストたちに迫る	R3.9.18～12.19	80	10,815	135
合 計			3,515	624,518	177

信楽産業展示館 年度別・月別観覧者数

年度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
3～	入場者数	154,937	247,243	122,742	165,909	184,605	134,554	230,468	223,475	63,498	51,138	77,346	124,611	1,780,526	305
22年度	開催日数	484	506	488	440	531	481	487	493	462	463	483	523	5,841	
23年度	入場者数	7,001	14,114	6,040	5,394	6,302	6,674	15,446	18,673	6,974	1,962	2,569	4,190	95,339	309
	開催日数	26	27	26	27	26	26	26	26	23	23	25	28	309	
24年度	入場者数	8,193	14,371	5,938	5,899	8,004	5,774	12,219	11,661	3,428	2,063	3,726	4,739	86,015	276
	開催日数	26	27	26	28	30	26	26	26	23	23	24	27	312	
25年度	入場者数	6,655	13,025	6,536	4,727	5,920	6,409	13,111	8,103	3,154	2,125	2,216	3,540	75,521	245
	開催日数	26	27	26	26	28	24	29	26	23	23	24	26	308	
26年度	入場者数	5,406	11,578	4,217	4,200	5,390	6,245	10,722	12,601	2,501	2,049	4,043	8,181	77,133	251
	開催日数	26	28	25	27	27	25	27	26	23	23	24	26	307	
27年度	入場者数	10,018	19,459	6,955	5,794	8,364	12,527	14,636	10,784	3,839	2,596	4,279	5,717	104,968	341
	開催日数	26	27	25	27	26	26	27	25	24	24	24	27	308	
28年度	入場者数	7,009	19,817	5,201	5,448	8,573	7,245	20,346	11,295	4,017	2,924	3,956	5,994	101,825	330
	開催日数	26	26	26	27	26	26	29	26	23	23	24	27	309	
29年度	入場者数	7,566	18,303	5,534	5,952	8,528	6,243	14,683	11,606	4,054	2,948	3,953	6,034	95,404	312
	開催日数	26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	24	27	306	
30年度	入場者数	7,763	17,752	4,825	4,655	8,186	5,876	15,441	11,639	4,152	3,463	4,844	5,492	94,088	307
	開催日数	26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	24	27	306	
元年度	入場者数	8,795	22,227	5,586	4,792	7,374	15,917	14,767	22,901	9,033	9,740	13,330	3,230	137,692	481
	開催日数	26	27	26	26	27	25	27	26	23	23	24	6	286	
2年度	入場者数	1,619	0	9,166	7,876	9,438	17,279	11,561	12,969	4,729	3,363	6,208	5,299	89,507	346
	開催日数	5	0	25	27	26	26	25	25	24	24	24	26	259	
3年度	入場者数	4,832	6,334	5,660	14,944	6,236	7,650	11,516	23,953	5,767	3,600	3,982	6,101	100,575	331
	開催日数	26	26	26	27	24	26	27	25	23	23	24	27	304	
合 計	入場者数	229,794	404,223	188,400	235,590	266,920	232,393	384,916	379,660	115,146	87,971	130,452	183,128	2,838,593	310
	開催日数	749	773	771	734	825	763	784	776	717	718	748	797	9,155	



信楽ホール・会議室利用件数

(単位：回)

催 事 内 容	3～ 22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	計
式 典・ 総 会 等	171	3	4	2	3	4	3	7	3	4	1	5	210
芸能・音楽発表会等	474	12	9	15	10	14	13	10	5	9	5	9	585
講演会・シンポジウム等	85	2	1	2	3	3	2	9	3	4	1	0	115
研 修・ 映 画 会 等	130	6	4	5	7	4	1	2	2	4	1	1	167
計	860	23	18	24	23	25	19	28	13	21	8	15	1077

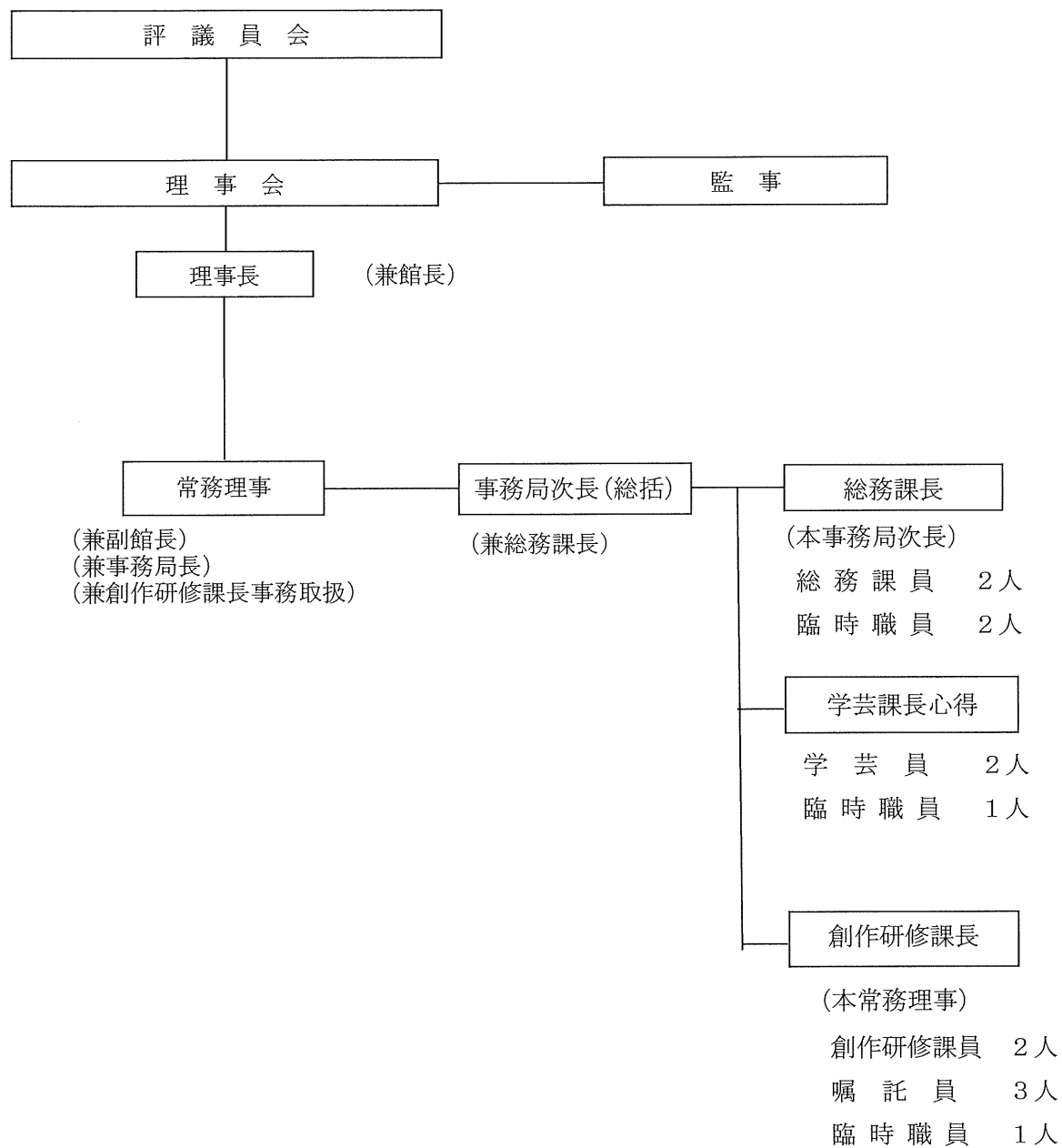
沿革と記録

昭和 60 年（1985 年）	4 月	陶芸の森設置の検討（商工労働部商工課経済対策係）
昭和 61 年（1986 年）	3 月	滋賀県立陶芸の森整備基金条例の公布（基金 10 億円）
平成元年（1989 年）	3 月	建築工事着手
	7 月	公園工事着手
平成 2 年（1990 年）	4 月	財団法人滋賀県陶芸の森設立
	6 月	竣工・プレ世界陶芸祭開催（6 月 2 日～6 日）
平成 3 年（1991 年）	4 月	世界陶芸祭開催（4 月 20 日開幕）
	5 月	世界陶芸祭中止（5 月 15 日閉場）
	7 月	平常業務再開（7 月 20 日）
平成 4 年（1992 年）	7 月	創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業開始
平成 7 年（1995 年）	10 月	開設 5 周年記念シンポジウム「今日のうつわを考える―用と美の対立を超えて」開催
平成 11 年（1999 年）		オランダのフェンロ市立美術館で初めて海外での陶芸の森のコレクション「日本の現代陶芸―前衛の動向―」展を開催
平成 13 年（2001 年）	10 月	・開設 10 周年記念イベント鼎談「土と炎と創作と―21 世紀の陶芸を見すえて―」開催 ・10 周年記念展として陶芸館で特別展「第信楽焼展―焼締めの美への憧れとその軌跡」を開催
平成 14 年（2002 年）	1 月	・陶芸館入館者数 60 万人記録 ・創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業での受入者の延べ人数が 500 人を超える ・信楽産業展示館入館者数 100 万人記録
平成 16 年（2004 年）	10 月	文部科学省「子どもの居場所づくり」キャンペーン事業「本物と出会う―森・もり！やきもの大作戦」開始
平成 17 年（2005 年）	3 月	中世穴窯／金山遺跡の再現事業で「金山再現窯」完成
平成 18 年（2006 年）	4 月	指定管理者制度に基づき財団法人滋賀県陶芸の森が滋賀県立陶芸の森の指定管理者となる
	6 月	創立 15 周年記念特別企画展「信楽を訪れた 594 人の陶芸家たち展」を開催

平成 19 年（2007 年）	7 月	『近江やきものがたり』京都新聞出版センターより出版
	11 月	天皇皇后両陛下を御迎えする
平成 22 年（2010 年）		・ 開設 20 周年記念特別展「しがらきやき—直方の茶陶 春斎の壺—」を開催 ・ 開設 20 周年記念シンポジウム「芸術・産業・観光から 活力あるしがらきの未来を考える—やきものが信楽を創造する—」を開催 ・ 創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業での受入者の延べ人数が 800 人を超える
平成 24 年（2012 年）	4 月	公益法人制度改革により公益財団法人滋賀県陶芸の森に移行
平成 25 年（2013 年）		陶芸館累計入館者数 100 万人達成
平成 27 年（2015 年）	10 月	開設 25 周年事業として、「25 周年記念事業—国際陶芸ワークショップ・シンポジウム アーティスト・イン・レジデンスを視点として「信楽から世界を見る 世界から信楽を見る」を開催。 ・ 創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業での受入者の延べ人数が 1,000 人を超える
平成 28 年（2016 年）		文化庁補助事業として、海外のレジデンス機関への陶芸家の派遣をはじめ
平成 29 年（2017 年）		・ 陶芸館累計入館者数 120 万人達成 ・ つちっこプログラム累計参加者数 10 万人達成 ・ 信楽長野地区の商店街の中に陶芸の森地域連携拠点として、「FUJIKI」をオープン
平成 30 年（2018 年）		信楽産業展示館累計入館者数 240 万人達成
令和元年（2019 年）		年間入園者数が 448,557 人となり、入園者の計測を開始した平成 15 年以降で最大となる
令和 2 年（2020 年）		・ 開設 30 周年記念事業として「薪窯の魅力を語る会×薪窯ワークショップ」、特別展「奇跡の土—信楽焼をめぐる三つの景色」を開催 ・ 新型コロナウイルス感染症流行による緊急事態宣言の発令に伴い、休園や陶芸館の臨時休館をおこなう
令和 3 年（2021 年）		・ 指定管理第 4 期（5 年間）の初年度として、新たに第 4 期中期経営計画を策定 ・ 信楽窯業技術試験場の令和 4 年度の隣接移転を見据えて、記念展「JAPAN STYLE—信楽クラフトデザインのあゆみ」を開催

組 織・名 簿 (R3年度)

組 織



公益財団法人滋賀県陶芸の森評議員名簿

令和3年6月1日現在

役職	現職名	氏 名	備 考
評議員	滋賀県商工観光労働部長	水上 敏彦	
評議員	甲賀市産業経済部長	田中 康之	
評議員	姫路市立美術館副館長	不動 美里	
評議員	岐阜県現代陶芸美術館顧問	榎本 徹	
評議員	日本工芸会理事	神農 巖	
評議員	信楽陶器工業協同組合理事長	大原 耕造	
評議員	信楽陶器卸商業協同組合理事長	脇阪 昇	
評議員	甲賀市商工会信楽支部長	植西 雄次郎	
評議員	株式会社京都新聞社滋賀本社代表	藤田 治久	
評議員	文筆家・編集者	成実(村松)美賀子	

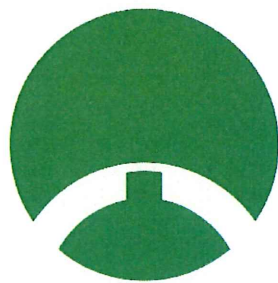
任期 令和2年6月17日～令和6年6月まで

公益財団法人滋賀県陶芸の森理事および監事名簿

令和2年6月25日現在

役職	現職名	氏 名	備 考
理 事	滋賀県商工観光労働部モノづくり振興課長	飯田 朋子	
理 事	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場長	川澄 一司	
理 事	甲賀市産業経済部商工労政課長	松下 泰也	
理 事	公益財団法人秀明文化財団専務理事	石丸 正運	
理 事	滋賀次世代文化芸術センター代表	斎藤 俊信	
理 事	信楽陶芸作家協会会長	神崎 継春	
理 事	京都芸術大学教授	服部 滋樹	
理 事	滋賀県立陶芸の森館長	松井 利夫	
理 事	同 副館長	津田 清和	
監 事	滋賀銀行信楽支店長	北川 琢也	
監 事	中小企業診断士	三宅 裕之	

任期 令和2年6月17日～令和4年6月



陶芸の森
The Shigaraki Ceramic
Cultural Park